

2023年度

科目名称	臨床整復学
授業コード	BH314
英語名称	Clinical theory of reposition by Judo 7
学期	2023年度前期
単位	2.0
担当教員	浅木 健治 (医療科学部)
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・下腿骨上端部から足趾までの骨折，脱臼，軟部組織損傷について学習する ・国家試験の出題問題なども適宜例に挙げ進めていくとともに臨床的に重要となる概念についても教授する
科目に関連する実務経験と授業への活用	<ul style="list-style-type: none"> ・柔道整復師としての接骨院にて臨床経験のある教員が下腿骨上端部から足趾までの骨折，脱臼，軟部組織損傷について講義する
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・本科目は，ディプロマ・ポリシーの【柔道整復師に必要な医学的知識・技術および基本的技能を有している】を達成するために必須となる科目である ・下腿骨上端部から足趾までの骨折，脱臼，軟部組織損傷において診察・整復・固定・後療法の概要の理解と知識の習得を目標とする
計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> 1) 膝蓋骨骨折（分類） 2) 確認テスト / 膝蓋骨骨折（発生機序～合併症） 3) 確認テスト / 下腿骨近位端部骨折 4) 確認テスト / 下腿骨骨幹部骨折 5) 確認テスト / 下腿骨遠位端部骨折 6) 確認テスト / 足根骨骨折 7) 確認テスト / 中足骨・足趾骨骨折 8) 確認テスト / 中足部・足趾部脱臼 9) 確認テスト / 膝関節軟部組織損傷（小児の膝変形～半月板損傷） 10) 確認テスト / 膝関節軟部組織損傷（側副靭帯損傷～変形性膝関節症） 11) 確認テスト / 下腿部軟部組織損傷（コンパートメント症候群～アキレス腱断裂） 12) 確認テスト / 下腿部軟部組織損傷（腓骨筋腱脱臼～過労性脛骨部痛） 13) 確認テスト / 足部軟部組織損傷（足関節捻挫～扁平足障害） 14) 確認テスト / 足部軟部組織損傷（セーバー病～モートン病） 15) 確認テスト / まとめ

2023年度

授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> ・講義が主（必要に応じて適宜実技をいれることもある） ・教科書および配布プリントにて講義内容の理解 ・各講義ごとに確認問題を実施し理解度を確認
能動的な学びの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・該当なし
授業時間外の学修	<ul style="list-style-type: none"> ・予習：次回講義該当箇所の教科書および配布プリントの通読 ・復習：実施した講義回の確認問題の反復学習およびプリント整理（各回1～2時間）
教科書・参考書	<p>書籍名：柔道整復学・理論編 改訂第6版</p> <ul style="list-style-type: none"> ・著者／編者名：公益社団法人 全国柔道整復学校協会 ・出版社：株式会社 南江堂 ・出版年：2018年 3月 <p>書籍名：柔道整復学・実技編 改訂第2版</p> <ul style="list-style-type: none"> ・著者／編者名：公益社団法人 全国柔道整復学校協会 ・出版社：株式会社 南江堂 ・出版年：2012年 12月
成績評価方法と基準	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内の確認テスト ～ での総合点（100％） （学期末定期試験は実施しない） <p>ただし、新型コロナウイルス感染症等により出席停止者が著しい場合は学期末定期試験（100％）にて成績評価</p>
課題等に対するフィードバック	<ul style="list-style-type: none"> ・確認テスト ～ とは別に各講義ごとに確認問題を実施する ・講義内で解答合わせと解説を行い 学生が理解不足の箇所をすぐに確認できるようにする
オフィスアワー	<ul style="list-style-type: none"> ・Campus Square を参照
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内の確認テスト ～ の総合点による成績評価となるためやむを得ない事情を除き【必ず授業に出席し、確認テストを受験】すること ・やむを得ない事情による欠席により確認テスト未受験の学生には、後日確認テストを実施する ・無断欠席者には後日の確認テストを実施しない ・本講義の理解には解剖学の知識が必要となるため解剖学（下肢の骨・筋）を復習しておくこと
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	<p>Zoomによるオンライン授業 授業動画配信によるオンデマンド授業 課題学修 のいずれかを実施、または複数を組み合わせて実施する</p> <p>学期末定期試験（100％）</p> <p>対面試験が実施できない場合はそれに代わる非対面試験で評価する</p>